

交通安全啓発事業

[575]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0101	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	交通安全意識の高揚	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	地域住民、歩行者、運転者、小学生、保育園児等	平成30年度啓発活動実績 ・幼稚園、保育園、児童館、小学校・中学校交通安全教室(26か所 2,751人) ・スケアード・ストレイト体験型自転車交通安全教室(旭丘小学校313人 瑞鳳小学校229人) ・高齢者交通安全教室(6回、188人) ・体験型交通安全教室(キッズ・セーフティスクール36人、シルバー人材センター27人、ドライビングクリニック2回18人)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	交通安全に関する出前講座(4回、163人) ・交通安全運動期間における交通安全キャンペーン(横断事故防止キャンペーン、自転車利用生徒へ安全啓発、飲酒運転根絶、シートベルトチャイルドシート着用等 13回1,808人) ・高齢者への運転免許自主返納の支援(あさぴーバス回数券交付181人) ・交通安全街頭監視活動(交通死亡事故ゼロの日、県下一斉大監視 24回273人) ・交通安全少年団啓発活動補助(8回301人) ・健康フェスタ・市民祭において、交通安全コーナーの開設(1,079人)
	交通安全啓発活動を実施することにより、市民一人ひとりが交通ルールを遵守している。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	開催回数	回	77	88	70	90	
	参加者数	人	5,599	6,348	4,600	7,367	
指標・事業費	事業費 計		1,948	2,105	2,840	2,744	
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
オ 一般	1,948	2,105	2,840	2,744			

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 非常に順調	(状況)交通安全啓発の参加者は昨年に比べ、1,019人増え順調に推移している。 (原因)中学生に対する交通安全教室を新規に実施したこと、また出前講座の依頼が増加した結果、交通安全に関心を持つ市民が増えたと考えられる。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	高齢者の運転免許証自主返納をさらに促進するため、関係課と連携した取組を行います。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
高齢者の運転免許証自主返納に対し、支援内容をあさぴーバス回数券、あさひ苑優待券、交通安全グッズに拡充した。			

交通安全活動団体支援事業

[578]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業 コード	43-0201	実施 計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合 戦略	
基本事業	02	市民参加の交通安全活動の推進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	交通安全活動団体	行政、警察、交通安全活動団体が一体となって、交通安全街頭監視ならびに交通安全啓発活動(スーパー店頭、駅前等街頭での交通安全の呼びかけ、啓発物品の配布、各種路上キャンペーン等)を行う。 【交通少年団】(平成30年度より、補助金から委託料に切り替えた) 主に小3~小6で構成されており、自由参加で交通安全学習会、市の交通安全キャンペーン等への参加している。なお、21年度より交通少年団経験者の中学生、高校生をリーダー役として団員の指導をしてもらうこととした。 【守山尾張旭交通安全協会】(平成19年度より補助金の拠出を取りやめた。) 守山署が事務局で、四半期ごとに交通安全運動に参加している。 【守山尾張旭交通安全推進協議会】(平成18年度より補助金の拠出を取りやめた。) 守山署が事務局で、ボランティアで交差点での街頭監視等を実施している委員で構成されている。 【交通安全尾張旭サポート】 市内在住の交通安全活動に賛同するサポーターで組織され、市民の交通安全の意識高揚と交通事故の撲滅を目的に街頭監視を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	補助団体による交通安全啓発活動等の実施により、市民一人ひとりが交通ルールを遵守している。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	補助金額	千円	90	100	100	100
成果指標	交通安全市民団体の会員数	人	219	221	250	251
事業費 計			170	100	100	100
指 標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	170	100	100

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 非常に順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	(現状)交通安全市民団体の会員数は昨年度と比べ30人増加している。 (原因)各種団体の活動が広く周知され、交通安全に関心を持つ市民が増えたと考えられる。
--------	--	---

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	補助事業から委託事業への見直しについて検討を行います。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
尾張旭市交通少年団に対し、啓発活動を委託した。			

放置自動車撤去事業

[579]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業 コード	43-0301	実施 計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	簡易評価	総合 戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	長期路上放置自動車	長期路上放置自動車を発見後、警告書貼り付け、警察署への廃棄物認定協議、廃棄物認定等の手順により放置自動車を処理する。
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
路上に自動車が放置されていない。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動 指標	路上放置処理対象自動車台数	台	0	0	3	0
成果 指標						
事業費 計		千円				
財源内訳	ア 国					
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般					

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

あんしん歩行エリア整備事業

[582]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0303	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	エリア内の市が管理する道路 エリア内の道路利用者	印場・瑞鳳地区 約143ha 平成15年度 あんしん歩行エリアの地域指定 事業計画の策定 平成16年度～ 工事実施 平成22年度 事業完了
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	三郷地区 約11ha 平成22年度 整備プランを策定 平成23年度～ 工事実施 平成28年度 事業完了予定
	側溝の有蓋化などにより、安全な歩行空間が確保できている。	三郷南側地域 平成28年度 整備プラン策定予定 平成29年度～ 工事実施予定

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	整備延長(m)	m	73	84	160	46
成果指標	整備率(%)	%	100	5	18	8
	人身事故発生件数	件	3	10	10	8
事業費 計			5,274	3,966	5,500	1,989
財源内訳		ア 国	2,475	1,650	2,475	
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	2,799	2,316	3,025	1,989

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)整備率は昨年度実績と比べ3.0P向上しています。 (原因)実績値は計画値と比べ10%低下していますが、交付金の補助率が低下し事業を縮小したためです。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

交通安全施設維持管理補修事業

[580]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0306	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	道路利用者 市の管理する道路上にある交通安全施設 (公安委員会管理施設除く)	市民(道路利用者)からの通報及び日常パトロール(道路照明灯点検は夜間パトロール)により発見された生活道路上の安全施設(道路照明灯、防護柵、道路反射鏡等)の破損箇所等に対し、適切な補修を行う。 ・材料を購入し、市作業員により施行する。 ・請負業者により施行する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
安全な道路環境を保全し、道路利用者が交通事故に遭遇しないようになっている		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	維持補修を実施した箇所数	箇所	192	147	160	63	
	苦情・要望により処理した件数	件	192	147	160	63	
成果指標	交通事故発生件数	件	330	369	310	342	
	交通事故発生減少件数	件	13	-39	10	27	
事業費 計			18,460	25,756	17,655	17,549	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他			6,706		
		オ 一般	千円	18,460	19,050	17,655	17,549

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)交通事故発生件数は昨年度実績と比べ7.3%向上しています (原因)交通事故発生件数は近年減少しています。これは、交通安全施設を適切に維持管理した結果です。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

交通安全施設整備事業

[581]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0307	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の管理する道路 道路利用者	<p>下記箇所から整備の必要箇所を選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民等からの要望箇所 ・事故発生箇所 ・市の道路パトロール等で整備必要と判断した箇所 <p>現場を調査し、安全対策を検討する。 必要に応じ警察と協議する。 道路安全施設整備工事を設計する。 工事を実施する。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・H20年度 交差点のカラー化を実施(狩宿橋、印場橋北、庄中町北) ・H22・23年度 路肩のカラー化(通学路)を実施 ・H23年度 交差点のカラー化を実施(国道363号 南新町中畑) ・H27年度 交差点のカラー化を実施(稲葉町)
	道路の交通安全環境が良好に整備され、利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路になっている	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	道路の安全施設整備箇所数	箇所	24	19	20	23
成果指標	交通事故発生件数	件	330	369	310	342
	交通事故発生減少件数	件	13	-39	10	27
事業費 計			17,270	17,231	23,300	23,059
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	17,270	17,231	23,300

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 交通事故発生件数は昨年度実績と比べ7.3%向上しています。 (原因) 交通事故発生件数は近年減少しており、これは、交通安全整備事業により適切に交通安全施設の整備を進めた結果です。</p>
--------	---	---

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

南栄3号線整備事業

[1229]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0308	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市道南栄3号線の利用者	H25 道路計画検討委託 県など関係機関との調整 全体整備計画策定(H26~H30)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	H26 道路詳細設計委託 愛知用水など関係機関との協議 H27~31 道路整備工事 H29 進入路整備設計委託
	歩道が拡幅され連続性が確保されている。 車道の屈曲部が解消され円滑な通行ができる。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	道路整備延長(m)	m	110	76	80	99	
成果指標	整備率(事業費ベース)(%)	%	30	53	83	76	
事業費計			37,948	34,819	50,000	47,885	
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県		17,800	17,138	25,000	12,250
		ウ 地方債		16,700	15,000		
		エ その他					
		オ 一般		3,448	2,681	25,000	35,635

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>尾張農林水産事務所による新池耐震工事が廃止されるなどの環境変化があったが、南栄3号線を整備するために、関係機関と協議しながら事業を進めている。</p>
--------	--	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	交通安全施設整備工事を行います。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
関係機関と協議しながら事業を進めている。			

横断防止柵整備事業

[1249]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0310	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の管理する道路 道路利用者	幹線道路の中央分離帯に横断防止柵を設置する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	H25～26 市道瀬戸新居線 H27～30 市道巡検道線
	幹線道路を横断する歩行者を減らし、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路になっている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	横断防止柵整備延長(m)	m	116	274	350	207
成果指標	整備率(%)	%	58	71	100	100
事業費 計			1,493	2,974	5,300	2,233
財源内訳		ア 国	649	1,375	2,090	
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	844	1,599	3,210	2,233

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 整備率は昨年度実績と比べ、29.0ポイント上昇しています。 (原因) 交付金の交付率は縮減されたが、市費により事業を推進したため。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

交通災害共済事業

[577]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0901	実施計画
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 市民活動課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)														
	市民	交通事故にあった市民に対し、入院・通院日数に応じて見舞金を支給する。 年会費 1人 500円(9月30日以後の加入は300円) <住民への周知方法> 2月末に申込書を郵送し、市または市内金融機関で各自申し込みを行う。 <共済の組織> 尾張市町交通災害共済組合(11団体)で行っている。 <共済事務として市が行っていること> ・加入申込書配布 ・加入金の確認と共済組合への振込み、補助分振込み ・見舞金の申請受付と振込み														
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H 2 7</td> <td>H 2 8</td> <td>H 2 9</td> <td>H 3 0</td> </tr> <tr> <td>共済会費納入額</td> <td>6,291,400円</td> <td>6,108,900円</td> <td>5,820,900円</td> <td>5,003,000円</td> </tr> <tr> <td>共済金支給額</td> <td>6,220,000円</td> <td>4,260,000円</td> <td>5,640,000円</td> <td>3,420,000円</td> </tr> </table> <p><その他> H30年2月20日の組合定例会において、H30年度をもって会員募集を終了し、組合の解散が決定。今後は地方自治法により解散に向けて事務を進めていく。</p>		H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	共済会費納入額	6,291,400円	6,108,900円	5,820,900円	5,003,000円	共済金支給額	6,220,000円	4,260,000円	5,640,000円
	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0												
共済会費納入額	6,291,400円	6,108,900円	5,820,900円	5,003,000円												
共済金支給額	6,220,000円	4,260,000円	5,640,000円	3,420,000円												

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	加入者数	人	12,243	11,667	12,200	10,020	
	見舞金申請受付件数	件	98	83	85	72	
成果指標	加入率	%	14.8	14.0	14.0	12.0	
事業費 計			1,391	1,402	1,268	604	
指標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		366	349	360	300
		オ 一般		1,025	1,053	908	304

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)加入率は、昨年度実績と比べ、2ポイント低下しており、加入者が減少している。 (原因)設立当時と比べ現在は民間の多種・多様な保険が普及したこと及び平成30年度の会員募集をもって終了したことが考えられる。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-